

非常通信フォーラム 非常災害時のアマチュア無線



その時、アマチュア無線家はどうするべきか？

平成22年8月22日

東京ビッグサイト西2展示ホール2階商談室



非常通信フォーラム ～ 非常災害時のアマチュア無線 ～

2010年は1月の「ハイチ共和国大地震」に始まり、3月の「南米チリ共和国大地震」、4月の「中華人民共和国西部の青海省大地震」など、世界の各地で大規模な地震による災害を受けました。この三つの大地震の被災各国では、被災地の通信手段の確保や支援や災害復興に、アマチュア無線家のボランティアによる積極的な活動協力が見られたようです。

「常に国土のどこかが揺れている」とも言われている「地震大国の日本」においても、このクラスの大地震発生の可能性が常に指摘されています。

今年のアマチュア無線フォーラムは「非常災害時のアマチュア無線」をテーマとしました。大地震をはじめ、数々の大規模自然災害に備えた「アマチュア無線の分野での取り組み」、「災害発生時の活動協力」、「ボランティア協力」などの可能性や、それらの活動を通じた「アマチュア無線の社会貢献」等について、出席者の皆様に大いに語り合ってください。

多数の皆様方のご出席をお待ちしています。

- 主催 (社) 日本アマチュア無線連盟 非常通信センター・技術研究所
- 日時 平成22年8月22日(日) 11:00 ～ 13:00
- 場所 東京ビッグサイト 西2展示ホール 2F(商談室6)



【プログラム】

10:40	開場、受付開始	
11:00 ～ 11:05	フォーラムの開催にあたって	菅原光宏(JARL 非常通信センター長)
11:05 ～ 11:30	阪神淡路大震災の体験から	JE3BRS 泰中 美彦
	1995年に発生した阪神淡路大震災直後の地域住民の情報連絡手段等について紹介します。	
11:35 ～ 12:00	横浜市における非常通信体制	JM1MNW 竹内 俊晴
	地域の防災活動で、アマチュア無線を活用した実践的な非常通信訓練の現状と行政機関との連携について、横浜市の場合を例にとりて紹介します。	
12:05 ～ 12:30	D-STARを使用した非常通信	7L1FFN 磯 直行
	非常災害時における被災地の映像の伝送などの、D-STAR ネットワーク活用の可能性について紹介します。	
12:35 ～ 13:00	ラジオ局の防災機能と100kW送信設備	JA7NJN 三浦 洋(ニッポン放送)
	①非常時の運用	
	・地震などの災害時に防災ラジオとして機能するように以前から社が取り組んでいる仕組みの紹介	
	②送信設備	
	・送信所の設備を簡単に説明し、100kWのスケールを知っていただきます。	
13:05	閉会	

※会場の座席数は約30席です。来場者多数の場合には立ち見となる場合や、入場できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。